# 連合 esen

No. 116
【2017. 6. 21】



連合岩手気仙地域協議会
大船渡市猪川町前田 9-17
TEL 0192-27-8671
FAX 0192-47-3471
http://www.rengo-iwate.jp/

発行責任者：梅木　傅
編集責任者：星　正和

## パリ協定

環境基本法により、６月は「環境月間」、６月５日は「環境の日」になっています。環境の日は、1972年に開催された国連人間環境会議を記念して定められ、日本の提案を受け、国連でも６月５日を「世界環境デー」と定めています。

私たち一人ひとりの環境に優しい行動が地球規模の問題を解決する鍵になっています。この機会に自らの生活習慣を振返り、行動してみませんか？

## 米国 離脱表明に関する

### 逢見連合事務局長 談話

６月１日、米国のトランプ大統領は、国連気候変動枠組条約のパリ協定から離脱し、「米国の労働者に有利」となる「新たな枠組み」をめざして再交渉する意向を表明した。世界第２位の温暖化効果ガス排出国である米国の協定からの離脱は、世界共通の長期目標の達成を困難なものとし、とりわけ、国連の温暖化対策のための資金調達にも大きな影響を及ぼしかねない。　　･･･談話は文中部分を省略･･･

米国のパリ協定からの離脱は、温暖化対策コストを負担する他国との交易条件に不公正なゆがみをもたらすことも懸念される。米国が温暖化対策の分野においても、自国利益優先の矮小な考えに陥ることなく、これまでどおり公平・公正な自由競争のもとで、世界全体の発展をめざす国家として、今後とも地球温暖化対策を主導していくことを期待する。

連合は、米国大統領の翻意を促すべく、各締結国の労働組合組織と連帯し、国際世論に訴えかけていく。

# 働き方改革フォーラム

## 第1話 あなたが輝く生き方を考えよう

講師　(株)CORESCO代表取締役　古森　剛　氏

六月一七日、キャッセン大船渡モール＆パティオにおいて、連合気仙Sriseプロジェクトの初めてのイベント企画として「働き方改革フォーラム」第一話を開催した。会場には、四四名の組合員・一般の方々が参加して行われた。

フォーラムでは、紺野プロジェクトリーダーから「より楽しく生活できるようにと、このプロジェクトを結成して一年が経過。今日の話をこれからの働き方につなげて欲しい」と挨拶を受けた。

講演は、講師に一般社団法人「はなそう基金」を設立、陸前高田市での英語音読会などのボランティア活動を続けている(株)CORESCO代表取締役の古森氏を迎え、「充実した人生とは」をテーマに講義をいただいた。

「あなたは今、充実していますか?二秒で答えられますか?」という問いかけから講義は始まった。朝五時まで受験勉強をしたこと、がむしゃらに働き、米国でのエピソードなどに触れ、結果や信頼や人脈を得たサラリーマン時代の自身の経歴を紹介。

農業を楽しんでいる古森氏は、無農薬でも健康な野菜を作るには「野菜を強くすること」だと冒頭に話し、野菜を強くするためには、「苦労させること」。苦労によって野菜は「広く、深く、根を張る」と語り、古森氏自身の生き方そのものだと感じた。

利他的に動いて他人から「ありがとう」と言われることは、人類共通の幸せの種、人生充実の源である、と語り、「あなたは何をもって満たされるのか?」ということを掘り下げて考えるため、『今はやれていないが、本当はやりたい事』リストを使ってワークが行われた。

「もっとやってみたい」「本当はこうしてみたい」と心の中で思っていることは何か、それを実現するためには何が妨げになっているのか、その改善策について質疑応答を交えて参加者が共有した。

自分の幸せを決めるのは、あなただけ、いつ来るかわからないけど、やり始める。

一度しかない人生。自分が「やりたい!」と思うことをやって、自分の人生をもっともっと充実させて、何倍もの器を持った自分になって、結果的には多くの人の役に立つ存在に!。とても熱くユーモアを交えて講演いただき、終了後は、古森氏を囲んで「海山酒場」で交流会をした。

## クラシノソコアゲ応援団！RENGOキャンペーン

# 街頭宣伝･演説を実施

気仙地協は、気仙地域一円を廻り「クラシノソコアゲ応援団！RENGO キャンペーン」の県内キャラバン行動を展開した。

一関地協から引き継いだ５月 21 日に大船渡に入り、22~23 日には「ＳＴＯＰ長時間労働！」のパネルや幟を掲げ、東大船渡市議会議員の協力を得ながら幹事会役職員がマイクを握り、働き方改革、長時間労働の是正、ブラック企業や不払い残業の撲滅、労働者の健康と安全の確保、高齢者の就業促進、若者・女性活躍に対する連合の考え方と現状を伝え「働く者の力と行動で職場と地域から労働時間と働き方の新たな常識をつくりあげよう」と訴えた。

また、今国会で「組織犯罪処罰等改正案」が審議されていることから、法案が抱える問題に触れながら「法案をＳＴＯＰさせよう！」と街頭演説（11 箇所）や街宣車から訴え、労働相談の周知を含めた街宣行動を実施した。

連合
労働相談
ホットライン
0120-154-052
雇用の不安
雇い止めの
不安はあり
ませんか？

東北労金は、資産形成のお手伝いをさせていただくために、夏季一時金支給に合わせて「サマーキャンペーン2017」を実施します。皆さんのご協力をお願いします。

〈対象取引〉
定期預金(新規５万円以上の預け入れ or 増額)、マイプラン･ローンの新規ご契約、積立型定期預金の年間積立額５万円以上の新規など。
※ 詳細は担当者に問合せ下さい。

## らど Id 07

「人を育てる」。企業の格差は人材、人材の格差は教育の度合いで、教育の格差は職場の環境次第と言って良い。

つまり、学歴よりも職場の環境を啓発しあえるモラール（向上意欲）の高い風土にすることが決め手になる。

同じ職場で働けば、お互いに不満も出てギクシャクすることもあると思う。夫婦でさえそうなのだから、まして他人であれば尚更であろう。

しかし、長年連れ添う夫婦はお互いの欠点を知り（時には我慢：諦めて）良好な夫婦関係を維持しようと努める。

職場の他人同士の間でも、欠点を責めたり、不満の種にするのではなく、欠点を理解し、それ以上に長所を見る努力が必要ではないでしょうか。

また、新入社員が一〇年も一五年も経験を重ねた社員に技術的に劣るのは当然であり、先輩や上司は新人に対して、社員としてのレベルを一気に求めては余りにも酷である。

先輩社員は「不満に思う」「怒る」のではなく、「育てる」という心構えを持つべきであり、新人を公私ともに親身になって励まし、指導し、育てる努力をしなくてはならないと思う。

先輩社員の皆さんは、業績を伸ばす以上に「人」を育てることが最重要と認識して欲しい。「人」が育てば並行して業績も伸びるはずです。

じっくりと「人」を育てて行きましょう。　伸・K